



平成30年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月12日

上場会社名 株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
コード番号 6668 URL <http://www.adtec-rf.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 修逸

問合せ先責任者 (役職名) 総務・経理部長 (氏名) 清水 誠

TEL 084-945-1359

四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第1四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	1,871	21.3	446	37.5	463	36.7	305	23.3
29年8月期第1四半期	1,542	27.3	324		339		248	

(注) 包括利益 30年8月期第1四半期 301百万円 (14.0%) 29年8月期第1四半期 264百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第1四半期	35.65	
29年8月期第1四半期	28.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年8月期第1四半期	7,894	4,257	53.9	495.97
29年8月期	7,753	3,990	51.4	463.81

(参考) 自己資本 30年8月期第1四半期 4,257百万円 29年8月期 3,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期		2.00		4.00	6.00
30年8月期					
30年8月期(予想)		3.00		3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,100	25.7	900	49.0	910	45.2	600	23.4	69.90
通期	7,824	8.4	1,554	4.6	1,568	3.7	1,034	8.9	120.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成30年1月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 有 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年8月期1Q	8,586,000 株	29年8月期	8,586,000 株
期末自己株式数	30年8月期1Q	2,040 株	29年8月期	2,040 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年8月期1Q	8,583,960 株	29年8月期1Q	8,584,000 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不安定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費の改善により緩やかな回復基調で推移いたしました。

世界経済におきましては、米国や欧州の経済は堅調に推移いたしました。北朝鮮情勢の影響など先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、スマートフォン等の成膜装置メーカー、フラッシュメモリーの増産及びIoT機器の普及など半導体製造装置メーカーの設備投資が好調に推移いたしました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、官公庁における新規案件が減少する中、シリコンウエハの生産能力増強の投資計画が発表され、受注獲得に注力いたしました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,871,930千円（前年同期比21.3%増加）、営業利益446,274千円（前年同期比37.5%増加）、経常利益463,882千円（前年同期比36.7%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益305,992千円（前年同期比23.3%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、売上高1,705,364千円（前年同期比20.8%増加）、営業利益471,326千円（前年同期比26.5%増加）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、売上高166,565千円（前年同期比27.5%増加）、営業損失24,821千円（前年同期は営業損失47,942千円）となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,542,750	1,871,930
売上総利益	674,768	827,143
営業利益	324,468	446,274
経常利益	339,290	463,882
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,213	305,992

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
半導体・液晶関連事業（当社等）	1,412,080	372,566	1,705,364	471,326
研究機関・大学関連事業（IDX）	130,670	△47,942	166,565	△24,821
合計	1,542,750	324,624	1,871,930	446,504

(注) 1. 売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。

2. 営業利益は、各セグメントの営業利益又は営業損失（△）を表しております。

(注) 文中表記について

(当社等)

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、Phuc Son Technology Co.,Ltd.、
Hana Technology Co.,Ltd.、愛笛科技有限公司及び蘇州啾啾電子有限公司を表しております。

(IDX)

株式会社IDXを表しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は7,894,562千円であり、前連結会計年度末と比較して141,323千円増加しております。

これは、現金及び預金の増加(106,300千円)、受取手形及び売掛金の増加(108,804千円)、仕掛品の増加(232,435千円)等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は3,637,188千円であり、前連結会計年度末と比較して125,598千円減少しております。

これは、買掛金の増加(110,349千円)、未払法人税等の減少(205,031千円)、長期借入金の減少(76,575千円)等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は4,257,374千円であり、前連結会計年度末と比較して266,922千円増加しております。

これは、利益剰余金の増加(271,656千円)等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、連結業績予想について見直しを行っております。詳細につきましては、本日(平成30年1月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,031,349	2,137,650
受取手形及び売掛金	1,705,799	1,814,603
製品	425,077	338,785
仕掛品	478,137	710,572
原材料及び貯蔵品	1,337,790	1,266,222
前払費用	64,397	52,804
繰延税金資産	52,849	43,491
未収入金	240,312	133,449
その他	16,174	21,578
流動資産合計	6,351,889	6,519,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,508,044	1,480,551
減価償却累計額	△894,238	△908,930
建物及び構築物(純額)	613,806	571,620
車両運搬具	37,437	37,437
減価償却累計額	△32,985	△33,402
車両運搬具(純額)	4,451	4,035
工具、器具及び備品	944,310	968,092
減価償却累計額	△703,381	△719,226
工具、器具及び備品(純額)	240,928	248,865
土地	363,670	363,670
有形固定資産合計	1,222,857	1,188,191
無形固定資産	69,326	80,149
投資その他の資産		
投資有価証券	39,453	42,294
その他	84,166	79,155
貸倒引当金	△14,455	△14,385
投資その他の資産合計	109,165	107,064
固定資産合計	1,401,349	1,375,405
資産合計	7,753,239	7,894,562

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,478	376,828
短期借入金	1,568,640	1,554,160
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	341,514	322,558
未払金	148,298	187,675
未払費用	89,497	93,017
未払法人税等	349,991	144,960
役員賞与引当金	—	5,086
その他	33,067	62,057
流動負債合計	2,817,488	2,766,343
固定負債		
長期借入金	855,417	778,842
繰延税金負債	8,259	8,920
退職給付に係る負債	7,939	9,435
資産除去債務	66,990	67,280
その他	6,692	6,367
固定負債合計	945,298	870,845
負債合計	3,762,786	3,637,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	908,160
利益剰余金	2,247,029	2,518,686
自己株式	△447	△447
株主資本合計	3,990,341	4,261,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,909	9,883
為替換算調整勘定	△16,886	△14,506
その他の包括利益累計額合計	△8,977	△4,623
非支配株主持分	9,088	—
純資産合計	3,990,452	4,257,374
負債純資産合計	7,753,239	7,894,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,542,750	1,871,930
売上原価	867,982	1,044,786
売上総利益	674,768	827,143
販売費及び一般管理費	350,299	380,869
営業利益	324,468	446,274
営業外収益		
受取利息	233	251
為替差益	11,236	20,847
受取手数料	8,450	70
その他	4,668	4,903
営業外収益合計	24,588	26,072
営業外費用		
支払利息	6,157	5,468
減価償却費	1,804	1,365
その他	1,804	1,630
営業外費用合計	9,766	8,464
経常利益	339,290	463,882
特別損失		
減損損失	—	27,990
特別損失合計	—	27,990
税金等調整前四半期純利益	339,290	435,892
法人税、住民税及び事業税	93,923	129,836
法人税等調整額	13,366	9,152
法人税等合計	107,289	138,988
四半期純利益	232,001	296,903
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,212	△9,088
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,213	305,992

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	232,001	296,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,194	1,974
為替換算調整勘定	29,062	2,380
その他の包括利益合計	32,256	4,354
四半期包括利益	264,258	301,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280,470	310,346
非支配株主に係る四半期包括利益	△16,212	△9,088

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

連結財務諸表提出会社は、原材料の評価方法について、従来、月次総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間から移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更は、近年原材料の生産現場への投入が早期化している状況を勘案し、適正なたな卸資産の評価、期間損益計算を行うため、平成29年9月に実施した基幹システムの変更を契機として評価方法の見直しを行ったものであります。

当該会計方針の変更は、過去の連結会計年度に関する原材料の評価の算定に必要な受払記録が一部入手困難であり、この会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を前連結会計年度において算定することが実務上不可能であるため、前連結会計年度末の原材料の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として、期首から将来にわたり移動平均法を適用しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

(減損損失)

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日）

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成29年9月1日 至 平成29年11月30日）

当第1四半期連結会計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	金額（千円）
栃木県佐野市	売却予定資産	建物及び構築物	27,990

当社グループは、原則として、事業用資産については報告セグメントを基礎に資産のグルーピングを行っております。

栃木県佐野市の売却予定資産につきましては、売却の意思決定を行ったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、回収可能価額については正味売却価額により測定しており、不動産売却予定額等を基に算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	1,412,080	130,670	1,542,750	—	1,542,750
セグメント間の内部 売上高又は振替高	438	7,083	7,522	△7,522	—
計	1,412,519	137,753	1,550,272	△7,522	1,542,750
セグメント利益又は損 失(△)	372,566	△47,942	324,624	△155	324,468

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△155千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	1,705,364	166,565	1,871,930	—	1,871,930
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,388	875	2,263	△2,263	—
計	1,706,753	167,440	1,874,193	△2,263	1,871,930
セグメント利益又は損 失(△)	471,326	△24,821	446,504	△230	446,274

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△230千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	全社・消去	合計
減損損失	—	27,990	—	27,990

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。